

公益社団法人京都府鍼灸師会 令和3年度事業実績

【1】研修事業（公益事業Ⅰ）

1. 鍼灸医学の進歩発展を図るための事業

(1) 学術講演会の開催

第54回東洋鍼灸医学大講演会の企画運営

11月28日(日) 登録会館大ホールで入場者数を定員の1/3に限定する等、感染対策を施して開催した。

講演：第1部：13：10～14：40

テーマ：「秘境の宿から世界の果てまで、届けこの想い！」

～100年越しの嫁、7代目女将の奮闘記～

講師：長野県地獄谷温泉後楽館 7代目女将 竹節三枝氏

第2部：14：50～16：20

テーマ：「治効機序に基づいた慢性疼痛の鍼灸治療」

講師：明治国際医療大学鍼灸学部 学部長 伊藤和憲先生

参加者 106名（会場54名、オンライン52名）

運営スタッフ 16名

(2) 財団の生涯研修会の開催（4回）

4月18日（5月16日に延期したが、新型コロナ緊急事態宣言延長により中止）、

6月27日、10月3日、11月28日（東洋鍼灸医学大講演会と併催）、1月16日の年5回の予定の内、年4回実施。33名の受講者があり、17名が15単位以上の研修修了単位を取得した。

(3) 鍼灸師の学術向上のための研修会

学術研修会の実施（2回）

女性部主催研修会（10月3日生涯研修会と併催）

青年部主催研修会（6月27日生涯研修会と併催）

近畿ブロック青年部研修会 2021年9月19日(土) 大阪（大阪コロナホテル）で開催され、青年部長が出席した。

(4) 第16回日本鍼灸師会全国大会 in 東京への参加促進

令和3年度10月24日(日)・25日(月)（としま区民センター及びWeb併催）で開催され、本会から会員5名が参加した。

2. 鍼灸学術の医学的研究に関する事業

(1) 日鍼会 Eラーニング研修システム（NELS）への参加推奨を行った。

【2】公衆衛生事業（公益事業Ⅱ）

1. 鍼灸業務の振興及び普及に関する事業

(1) 鍼灸普及用刊行物「はりきゅっていきましょう！」（一般向け年4回発行）

令和3年春号（4月1日）、夏号（7月1日）、秋号（10月1日）、新春号（令和4年1月1日）の4回発行した。鍼灸学校（関西地区）、京都府下自治体、京都府医療関係団体、鍼灸師会（近畿地区）、京都府議会議員、京都市議会議員他に配布した。

(2) パンフレット等の作成及び配布（普及部・保険部・組織部）・・・未実施

(3) 日本鍼灸師会発行の鍼灸普及用刊行物（日本鍼灸新報、けんこう定期便）の周知 日鍼会「鍼灸のすすめ」を東洋鍼灸医学大講演会の参加者に配布を行った。

(4) 鍼灸普及用ポスターの作成及び配布・・・未実施

(5)京都府医療推進協議会イベントへの協力

5月頃に京都府医師会館において、「健康長寿の延伸」等をテーマにシンポジウムを開催し、鍼灸体験ブースを設置する予定であったが、コロナ禍のため中止となった。

(6)京鍼会ウェブサイトの管理と充実、ホームページのリニューアル

京鍼会ホームページを全面的にリニューアルし、令和3年3月から運用を開始した。新着情報をタイムリーに掲載する等、内容の充実化を図った。一般の方が閲覧しやすいようページ構成を変更した。

2. 鍼灸業務を通して公衆衛生の向上に寄与する事業

(1)府・市民の健康増進活動の普及・推進及び健康相談

東洋鍼灸医学大講演会の会場に鍼灸健康相談コーナーを設置し、府民・市民の相談に対応した。

(2)大規模災害時の鍼灸施術ボランティア体制構築（京都府内鍼灸団体と協働）

- ・7月19日に（公社）京都府鍼灸師会と（公社）京都府鍼灸マッサージ師会が連名で、京都府知事宛に「災害協力協定締結についての要望書」を提出し、関係課と協議を行った。この結果、（公社）京都府鍼灸師会と（公社）京都府鍼灸マッサージ師会、（公社）京都府視覚障害者協会、（一社）京都府あん摩マッサージ指圧師会が連名で京都府知事と「災害時におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の業務の提供に関する協定書」を締結する運びとなり、令和4年1月17日(月)に京都府庁において、各団体の代表者が出席した締結式が執り行われた。
- ・被災地への災害支援鍼灸ボランティアの派遣・・・令和3年7月豪雨による静岡県熱海市の土石流災害他では、コロナ禍で他府県へのボランティア派遣が難しかった。
- ・災害鍼灸コーディネーター会議開催・・・コロナ禍のため未開催。

(3)地域医療との連携及び公衆衛生の普及啓発活動（地域活動）

府下地区の地域開催イベントへの参加と鍼灸普及・啓発活動（鍼灸体験会の開催）

○京都 YMCA インターナショナル・チャリティラン・・・例年5月に開催予定（嵐山東公園）であるが、コロナ禍により中止。

○「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」のボランティア参加準備

- ・2022年5月13日(金)～29日(日)の「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」に向けた鍼灸施術のボランティア参加準備を行った。
- ・本会は（公社）京都府鍼灸マッサージ師会と協働で、たけびしスタジアムの陸上競技に対応することとし、京都市実行委員会と協議を進めた。また、本会単独で久美浜湾カヌー競技会場（京丹後市）におけるカヌー競技に対応することとし、田辺中央体育館（京田辺市）におけるハンドボールについても検討を行った。
- ・9月26日（日）日本鍼灸師会近畿ブロック会議において、「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」への対応を議題に取り上げ、各府県鍼灸師会の検討状況を共有するとともに、協力体制の確認を行った。
- ・「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」の2022年度の実施については、新型コロナウイルスの影響から、海外参加者が見込めない等の理由から、10月26日の大会組織委員会理事会で再延期の方向が示された。

○2022 京都マラソン

- ・2月20日(日)に例年通りゴール地点のみやこめっせにおいて鍼ランナーケアボランティアを行う予定であったが、コロナ禍のため、スマートフォンのアプリを使って走った距離や時間を測定するオンライン開催となった。

○府民交流フェスタ

・11月3日に府立植物園では、パフォーマンス広場でのショーや府内各地の野菜や加工品販売等が行われたが、本会は今年度から「オンライン型フェスタ参加・協力団体」として参画し、本会の普及活動や健康維持に与える鍼灸の効果、健康保険や助成券の利用等、Web上で団体紹介を行った（3月20日頃まで掲載）。

(4)厚生労働大臣免許保有証に関する業務・・・申請の受付・発送・管理等
8件（新規4件、更新4件）の申請を受理し処理を行った。

3. 療養費制度適用推進事業

(1)療養費制度の普及啓発と手続き支援（療養費払い適正運用作業部会の開催）

療養費払い適正運用作業部会を4月4日、5月9日、6月6日、7月4日、8月8日、9月5日、10月3日、11月7日、12月5日、2022年1月4日、2月6日、3月6日に開催した。

(2)医療保険および老人保健に関する手続き支援・・・適宜対応

(3)労災保険に関する手続き支援・・・実績なし

(4)生活保護および公費負担医療、施設費払い（施術助成券）に関する手続き支援・・・適宜対応。施術助成券の拡大については、乙訓地区会員と連携して4月22日に向日市役所を訪問し、安田守市長に復活の依頼を行った。

(5)療養費制度の取扱い及び支援に関すること

①保険取扱研修会の開催・・・7月4日(日) 京都府鍼灸会館とオンラインの併催で開催。

②鍼灸師向け講習会の開催・・・5月16日に生涯研修会との併催を予定していたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言延長により中止となった。

4. 介護支援に関する事業

(1)リハビリ医学講座の開催（年6回）

（公社）京都府鍼灸マッサージ師会と共催で「あはき師のためのリハビリ医学講座」を京都府鍼灸マッサージ師会会館とオンライン併催で、全6回の内、①11月7日、②11月21日、③12月5日の3回を実施したが、コロナ禍により令和4年④1月23日、⑤2月6日、⑥3月6日の3回は次年度に延期となった。

【3】 会員相互扶助事業（共益事業）

1. 会員の学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

(1)会員の資質向上及び指導育成に関すること

例年、東洋鍼灸医学大講演会や生涯研修会等を通じた会員の研修を実施している。

(2)情報や会報等のメール配信及びSNSを利用した双方向連絡体制の促進

メールアドレス登録者のメーリングリストから、タイムリーに情報を発信。Facebookにより会員・会員外に情報発信。

(3)会員証の発行（携帯用を含む）・・・（携帯用を含む）正会員証を発行。

(4)学生会員制度の見直し・・・学生会員制度の枠組みや特典等の見直しを行い、運用を実施中。

(5)「東洋医学暮らしの倶楽部」の実施・・・会員の自主的な運営により、8月1日(日)、12月12日(日)、1月30日(日)の3回実施（京都府鍼灸会館とオンライン併催）。

2. 会誌、刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(1)会務情報機関紙「京鍼」の発行（会員向け年4回発行）

行事トピックス、会務報告・会務予定、各部便り、定時会員総会報告、会員投稿記事、

新型コロナウイルスワクチン優先接種についての要望書提出、自民党京都府議会議員団へのコロナ禍に伴う鍼灸施術所に対する救済策の要望書提出などを掲載し、内容の充実化を図った「京鍼」を年4回発行した。

(2) 会員及び一般市民の健康に関する調査研究

- ・ 東洋鍼灸医学大講演会（府民公開講座）における鍼灸健康相談コーナー、府民交流フェスタにおける Web 団体紹介等の機会を利用して、鍼灸の普及啓発を図った。
- ・ 会員の高年齢化（平均年齢 56 歳）に伴う退会者増加を補う若年鍼灸師の加入を促進するため、鍼灸学校学生に研修会テーマに関するアンケート調査を行い、本会活動に参加するニーズを把握した。

3. 鍼灸師の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業

(1) 会員の慶弔、お見舞いに関すること・・・現役会員の死亡 1 名に弔慰金献呈、長期入院会員 1 名に見舞金支給。弔電 2 件。

(2) 災害時の会員安否確認（連絡体制整備）、被災会員の援助・・・京都府において大規模災害発生なし。

(3) 会員サポート事業（会員の福利厚生事業）・・・日鍼会から団体長期障害所得補償保険等の補償プラン等の団体保険の加入案内。

(4) ステッカー等の発行・会員バッジの貸与・・・単年度ステッカーの発行。会員バッジの貸与なし。

(5) 公益目的事業の推進に資するため、会員の相互扶助活動

地区との連携・地区活動の推進・地区区分見直しの検討・・・コロナ禍のため、地区会議は城南のみオンラインで実施。地区長会議を 2 月 27 日（日）全員がオンラインで実施し、本会の課題を共有し、地区再編について意見交換を行った。地区の再編を 3 月 12 日の理事会で決議した。

4. 表彰・感謝状に関すること

叙勲・褒章、厚生労働大臣表彰、日本公衆衛生協会会長表彰、京都府知事表彰、京都市長表彰、日鍼会会長表彰、本会会長表彰等

・・・岡田高副会長が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受ける。

5. 会員名簿の作成、会員異動の管理に関すること

(1) 会員の異動管理

(2) 会員名簿の作成・・・7 月末に令和 3 年度会員名簿発行

【4】 法人管理事業

1. 諸会議の開催及び運営に関すること

(1) 定期総会の開催・・・令和 3 年 5 月 30 日（日）、京都経済センター及びオンライン

(2) 理事会の開催（6 回）・・・4 月 17 日（土）、6 月 19 日（土）、8 月 28 日（土）、10 月 9 日（土）、1 月 22 日（土）、3 月 12 日（土） 京都府鍼灸会館及びオンラインで開催。

(3) 業務執行理事会の開催（6 回） 理事会非開催月月末の火曜日（原則）・・・5 月 25 日（火）、7 月 27 日（火）、9 月 28 日（火）、11 月 30 日（火）、12 月 21 日（火）、3 月 15 日（火）の 6 回オンライン等で開催し、議事録を作成して、理事会に（メールで）報告を行った。

(4) 会務連絡会の開催 理事会 1 週間前の土曜日（オンライン）を原則とするが、メール等での意見調整の活用を図る。・・・4 月 3 日（土）、6 月 12 日（土）、9 月 28 日（土）、3 月 5 日の原則、理事会 1 週間前に 4 回オンライン等で開催した。8 月・1 月はメールでの意見交換に代えた。

(5) 監査会の開催・・・令和 2 年 4 月 17 日（土） 京都府鍼灸会館で実施。

2. 財務執行と財産管理に関すること
 - (1) 予算の編成、執行ならびに決算に関すること・・・適宜実施。
 - (2) 物品の調達、処分及び財産管理に関すること・・・適宜実施。
3. 法制に関すること
 - (1) 定款、規則等の制定及び改廃に関すること
 - ① 定款の変更：定款第6条第2項の会員の種類に準会員及び賛助会員を追加する件
 - ② 入会金及び会費等に関する規程の改定：第3条に準会員・賛助会員の会費を追加する件を5月30日の令和3年度定時会員総会に上程し、特別決議として可決された。
併せて、入会規程の改定：第2条第3項に準会員、第4項に賛助会員の要件を追加する件を理事会で決議した。
 - (2) 特定費用準備資金等取扱規則の改定
会員数減少を考慮して、「会館改築積立計画書」の年積立額を20万円から10万円に、「記念事業積立計画書」の年積立額を10万円から6万円に改定することを1月22日の理事会で決議した。
 - (3) 関係法令の研究及び周知に関すること・・・適宜実施。
4. 庶務に関すること
 - (1) 会員台帳の作成保管・・・適宜実施。
 - (2) 文書の作成、発送、保管及び整理・・・適宜実施。
 - (3) 会議資料及び議事録の作成並びに保管
・・・定時会員総会議事録、理事会議事録、業務執行理事会議事録を作成し保管。
5. 儀式・儀典等の企画、運営に関すること・・・令和3年度は儀式・儀典なし。
6. 事務所及び職員の管理運営に関すること
7. 対外的活動に関すること
 - (1) (公社)日本鍼灸師会の通常代議員総会等への出席 6月13日(日) 帝京平成大学本館
・・・委任状を提出し、オンラインで聴取。
 - (2) (公社)日本鍼灸師会近畿ブロック会議(9月26日(日)) 京都府鍼灸師会が担当し、全員がオンライン開催
・・・10:00-12:00 近畿ブロック師会長会議
10:00-12:00 研修会「ワールドマスターゲームズ関西における救命方法実践」
13:00-16:00 近畿ブロック本会議
主要議題「ワールドマスターゲームズ2021 関西への対応」
「若年鍼灸師の入会促進策(成功事例を含む)」
関係師会の会議・行事等への参加・・・(一社)兵庫県鍼灸師会設立70周年記念式典(1月16日(日) 神戸中華会館)に出席を予定していたが、コロナ禍により中止。
 - (3) (公社)日本鍼灸師会の諸行事及び全国大会等への参加
 - ・日鍼会全国師会長会議出席・・・12月5日(日) 東京ステーションコンファランス万世橋開催に出席。
 - ・日鍼会第16回全国大会 in 東京・・・10月24日(日)・25日(月) としま区民ホールとオンライン併催。本会から5名がオンライン参加。
 - ・日鍼会創立70周年記念式典・・・10月24日(日) としま区民ホールとオンライン併催。
*祝賀会は中止
 - (4) 行政・関係省庁との折衝
 - ・新型コロナワクチンの鍼灸師への優先接種要望書を提出((公社)京都府鍼灸師会・(公社)京都府鍼灸マッサージ師会連名)。

この結果、

- ① 京都府（ワクチン接種対策室）（4月21日）→ 府内で施術所を開設している鍼灸師への京都府集団接種会場での優先接種開始（6月29日）
- ② 京都市（医療衛生推進室）（6月21日）→ 保育士、介護従事者等として鍼灸師の優先接種開始（8月26日）。
- ③ 京都市（医療衛生企画課）（2月15日）→ 保育士、介護サービス従事者、障害福祉サービス従事者等として鍼灸師の3回目接種に対する専用予約枠を設定（2月26日接種開始）。
- ④ その他亀岡市が亀岡市に施術所がある鍼灸師への優先接種を実施。

・京都府との災害協力協定締結（健康福祉部）

7月19日に（公社）京都府鍼灸師会と（公社）京都府鍼灸マッサージ師会が連名で、京都府知事宛に「災害協力協定締結についての要望書」を提出した。この結果、（公社）京都府鍼灸師会と（公社）京都府鍼灸マッサージ師会、（公社）京都府視覚障害者協会、（一社）京都府あん摩マッサージ指圧師会が連名で京都府知事と「災害時におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の業務の提供に関する協定書」を締結した（1月17日 京都府庁において締結式）。

・自民党京都府議会議員団へのコロナ禍に伴う鍼灸施術所に対する救済策の要望書提出（9月24日）。

・ワールドマスターゲームズ2021 関西へのボランティア参加準備

本会は（公社）京都府鍼灸マッサージ師会と協働で、たけびしスタジアムの陸上競技に対応することとし、京都市実行委員会（京都市市民スポーツ振興室）と協議を進めた。しかし、コロナ禍により海外からの参加者が見込めないことから、再延期となった。

(5)医療関係団体等の会議・行事への参加

・・・コロナ禍のため、例年5月に開催される京都府医師会館における医療推進協議会シンポジウムは中止。医療推進協議会代表者会議も開催されず。

(6)鍼灸関連団体の会議・行事への参加

（公社）全日本鍼灸学会学術大会 福岡大会 6月4日（金）～6日（日）福岡から全員オンラインで開催。

8. 関連諸団体及び教育機関との連携、協力及び交流に関すること

(1)厚生労働省、京都府、京都市、府下行政

・京都府知事に新型コロナウイルス感染症に伴う鍼灸マッサージ施術所に係る助成金等の要望書を提出。

(2)（公財）東洋療法研修試験財団、鍼灸マッサージ等国民年金基金

・生涯研修会を（公財）東洋療法研修試験財団に実施申請。修了者に対する修了証書を交付申請。

(3)（公社）日本鍼灸師会、都道府県鍼灸師会、各鍼灸関連団体

(4)京都府医療推進協議会、（一社）京都府医師会他各医療関連団体

京都府医療推進協議会シンポジウム中止（5月）、（公社）京都府柔道整復師会懇親会中止、（公社）京都府視覚障害者協会定時総会は会員のみで実施（9月／来賓出席なし）、（公社）京都府鍼灸マッサージ師会新年祝賀会中止（1月）、（公社）京都府視覚障害者協会新年のつどい」中止（1月）。

(5)（公社）東洋療法学校協会、（公社）全日本鍼灸学会、医科大学、鍼灸大学、

鍼灸師養成学校

・卒業式来賓出席

京都仏眼鍼灸理療専門学校（3月12日）、明治国際医療大学（3月15日／学内関係者だけで実施）、京都医健専門学校（3月22日／学内関係者だけで実施）

・第54回東洋鍼灸医学大講演会への講師派遣・・・明治国際医療大学鍼灸学部学部長 伊藤和憲先生

・本会副会長が京都医健専門学校の教育課程編成委員及び学校関係者評価委員に就任。

【5】その他公益目的を達成するために必要な事業

(1)新公益法人制度の対応：公益社団法人の事業実施

・随時実施。

・京都府鍼灸会館前に、経理書類(貸借対照表)を公示。

(2)納税相談会（寄付金、年金、小規模共済、医療、各種保険控除、青色申告）

・・・寄付金なし、その他未実施。

(3)公益活動支援：救命講習・応急手当講習への推奨派遣・・・未実施

(4)その他公益に関する事業・・・特に記載事項なし

以上